

Globalization begins within

グローバリゼーションはあなたの心の中から



青山学院大学 国際政治経済学部

SIPEC 2024

School of International Politics, Economics and Communication



青山学院大学
国際政治経済学部

国際政治経済学部は
2022年に40周年を迎えました



https://www.aoyama.ac.jp/post02/2022/news_20220629_01

Globalization begins within

2023年7月発行

国際系学部のパイオニアとして

新しい価値を創造し、発信するグローバルリーダーを育成

なぜ、国際政治経済学部なのでしょうか？

それは、国内外の多様性がますます進み、

多様性や不確実性に対応できる力が

求められているからです。

本学部では国際政治学、国際経済学、

国際コミュニケーション学を

それぞれ深くまなび、

さらに3分野を有機的に統合して学びます。

日々の学びの中で、

学生の多様性への対応力やリーダーシップスキル、

批判的思考力・問題解決力、

外国語運用能力、発信力を育んでいます。



教育の特色 1 | 深い専門性

専門知を磨き、統合知を獲得する

グローバルな課題を解決するために必要な国際政治、国際経済、国際コミュニケーションの専門的な知識や洞察力。さらに、これらを統合的に理解し、国際社会を見通す力。本学部では、3学科5コース制で学問的な専門性を磨きつつ、専門の垣根を越えて多角的に物事を捉える力を養います。

3学科5コース

▶ PP.03-04

「知」を集め活用する力を培う

少人数ゼミをはじめ、ディスカッション、プレゼンテーション、ディベート、グループワークといった学びのスタイルを多くの授業で取り入れています。それは自ら問いを発し、その問いを仲間と共有しながら学問的に解決していくプロセスを重視しているからです。

1から4年次へと続く少人数ゼミ

▶ PP.05-06

Globalization begins within

IT技術の発達や人工知能の発展は私たちの日常生活を益々便利なものにし、ネットワーク上で世界の誰とでも意見交換することを可能にしました。しかし、世界のあらゆるところで紛争は繰り返され、想定外の災害も頻発し、より不確実な世の中になってきています。

グローバリゼーションは心の内から始まります。今こそ、国、言語、民族、習慣、ジェンダーによる違いを越えた共生・協働が私たちに求められています。学生一人一人が他者を尊重し、多様性から新しい価値を創造し、真のグローバルリーダーとして社会にはばたいていけるよう私たち国際政治経済学部は共に歩んで参ります。

国際政治経済学部長
末田 清子
SUEDA, Kiyoko



教育の特色 2 | 高い国際性

英語で考え、協働する力を身につける

「国際」に特化した学問領域や国際理解科目に加え、国際問題や時事問題をベースとした外国語プログラム、70を超える専門科目の英語講義や豊富な留学・海外研修などを通して、ユニバーサルなコミュニケーション能力を高めます。

英語で学ぶ専門科目

▶ PP.07-08

世界を舞台に活躍する人材を育てる

▶ PP.09-10

海外で学ぶ豊富なプログラム

▶ PP.11-14

国際政治経済学部は、以下の資質をもった学生をお待ちしております。

- 国際社会の動向およびあり方についての知識と関心を有している。
- 自らの力で主体的に思考し、判断し、表現できる。
- 学びを通じて他者と積極的に協力・協働し行動する意欲を有している。

国際政治経済学部 3学科のアドミッションポリシー（入学者受入れの方針）については以下をご確認ください。

www.aoyama.ac.jp/faculty/sipec/

※2023年7月時点での情報です。
内容は変更となる場合がございます。



専門知を磨き、 統合知を獲得する

3 学科 5 コース

国際政治学科

国際社会の多様な現実を知り、問題解決力を身につけ、
自らの考えを発信する



政治外交・安全保障コース

- 主要国家や地域の視点から国際政治を分析
- 国際政治問題の分析と解決提言を行う

グローバル・ガバナンスコース

- 全地球的視野から新たなガバナンスのあり方を検討
- 地球規模の課題を分析し、問題解決を模索

学科科目例

国際関係論入門／政治理論入門／アジア政治入門／環太平洋政治入門／アメリカ政治入門／ヨーロッパ政治入門／中東政治入門／アフリカ政治入門／国際交流実務論／政治分析概論／政治外交・安全保障概論Ⅰ・Ⅱ／グローバル・ガバナンス概論Ⅰ・Ⅱ／国際政治経済学概論／国際関係史概論／国際法概論／データ分析概論／政策過程概論／政治過程概論／政治学方法概論Ⅰ・Ⅱ／国際機構概論／国際NGO概論／日本の外交／日本の防衛／国際安全保障論Ⅰ・Ⅱ／比較政治論／日本政治論Ⅰ・Ⅱ／中国政治論Ⅰ・Ⅱ／アジア太平洋政治論Ⅰ・Ⅱ／アメリカ政治論／国際法Ⅰ・Ⅱ／外交史Ⅰ・Ⅱ／国際関係理論／政治思想史／国際正義論／計量政治分析／国際政治経済論Ⅰ・Ⅱ／国際制度論／国際平和協力論Ⅰ・Ⅱ／EU論Ⅰ・Ⅱ／国際環境論Ⅰ・Ⅱ／国連研究／ジェンダーと国際政治／人の移動と国際関係 など

演習論文テーマ例

- サイバー攻撃に対する国際法・国際的枠組みの適用に向けて
- なぜ、中国では新型コロナウイルスの感染再拡大が起きなかったか
- The relationship between economic maturity and the probability of conflict based on the GDP share of each industry
- トランスジェンダーの女性選手は女性スポーツにどのような影響を与えるか
- EUの地域政策の評価

Vision of the Future

国際機関や公的機関、国際的な企業に就職するなど、
広く国際社会に関わりたい

国際経済学科

世界経済・経営が直面する新たな
確かな分析力を身につける

潮流をつかみ、



国際経済政策コース

- 国、産業レベルでの国際的経済問題を分析
- 経済理論に基づいた政策提言を行う

国際ビジネスコース

- 国際ビジネスや経済活動に対する視点を身につける
- 企業行動や企業マネジメントなどを実践的に分析する

学科科目例

経済学入門(ミクロ) / 経済学入門(マクロ) / 国際経済学入門(ミクロ) / 国際経済学入門(マクロ) / 社会科学のための統計学入門Ⅰ・Ⅱ / 社会科学のための統計学入門Ⅰ・Ⅱ / 情報と経済学 / ビジネス・マネジメントⅠ・Ⅱ / グローバル経済学Ⅰ・Ⅱ / 国際公共経済学 / 国際貿易Ⅰ・Ⅱ / ゲームⅠ・Ⅱ / 計量経済学Ⅰ・Ⅱ / ビジネス・エコノミクス / 多国 / コーポレートファイナンスⅠ・Ⅱ / 政治経済実証分析 / 経済 / 地域研究(アジア経済)Ⅰ・Ⅱ / 地域研究(EU経済)

演習論文テーマ例

- コンテンツ産業における無償供給と経済厚生
- 南アジア地域におけるノンフォーマル教育の役割: 初等教育の質の格差是正に注目して
- 外国人労働者が平均賃金に与える影響～日本における技能実習生の分析～
- 凶悪犯罪件数の増減に影響を与える社会環境についてのパネルデータ分析
- センtralリーグ野手の年俸決定要因分析

Vision of the Future

国際金融や発展途上国の企業に就職して国際ビジネス
の舞台で活躍したい

世界の課題を解決する知を得る

政治・経済・コミュニケーションを学ぶ

- 国際政治経済学部生として求められる、国際問題を考える基礎と幅広い視野を身につける

専門性を深めるコース選択

- 希望に合ったコースを選択し、各分野の専門性を深める ……2年次

自由に学べる、ゼミを選ぶ

- 基礎と専門性を課題解決力に変えるゼミ。所属する学科にとらわれず自由に選ぶ ……3年次
- 学ぶ意欲に応じて、学科・コースの枠を超えた科目を履修する

国際コミュニケーション学科

異文化を理解し、人と人、人と社会、社会と社会をつなぐ
コミュニケーションを理解する



国際コミュニケーションコース

- 「言語」、「地域文化・比較文化」、「コミュニケーション」の3つの視点からグローバル社会の課題を考察する

学科科目例

国際コミュニケーション総論Ⅰ・Ⅱ / コミュニケーション論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ / 国際ビジネス・コミュニケーションⅠ・Ⅱ / インターカルチュラルトレーニング / コミュニケーション研究法の全体像 / コンピュータによる調査データの解析 / アンケート・社会調査の方法 / 言語科学概論Ⅰ・Ⅱ / 社会言語学入門 / 言語の仕組み / 多言語社会とコミュニケーション / 実践・通訳コミュニケーションⅠ・Ⅱ / 翻訳の理論と実践Ⅰ・Ⅱ / Culture and Society / Intercultural LiteracyⅠ・Ⅱ / 宗教文化論Ⅰ・Ⅱ / 文化研究概論Ⅰ・Ⅱ / ヨーロッパ文化論Ⅰ・Ⅱ / スペイン文化論 / ロシア東欧文化論 / 中国文化論 / 国際協働学習 / 異文化コミュニケーション特講Ⅱ など

演習論文テーマ例

- On the parallels between first language acquisition and second language acquisition
- 日本で子育てをする外国人母親の育児ストレスー COVID-19パンデミック下のインタビュー調査を通してー
- Differences in Use and Interpretation of Emojis between Japanese and American Nationals
- グローバル化に伴う日本食文化の維持と変容
- 中国におけるアイドル文化の展望ー経済的側面に着目してー

Vision of the Future

マスコミ、商社、サービス業、金融業はもちろん、
海外協力事業団、国際交流事業、通訳・翻訳業界に挑戦したい

詳しくは大学Webサイト(www.aoyama.ac.jp/faculty/sipec/curriculum/)をご覧ください。



「知」を集め 活用する力を培う

単に知識を得るだけでなく、自ら課題を発見し、仲間と共有しながら学問的に解決していく
能動的な学びを重要視しています。その軸が、1年次の入門セミナーから3・4年次の演習へと続くゼミ。
3・4年次の演習は一学年あたり平均6名と少人数です。

1年次

入門セミナー

専門分野への導入と 学習の方法やスキルの獲得

本学部で学ぶ専門分野について、様々な角度から触れることによって、その概要を把握します。
また、資料文献の読み方、レポートの書き方、プレゼンテーションやディスカッションの方法など、大学生として必要なスキルを演習形式の能動的な学習によって身につけます。

入門セミナー

あらゆる題材の中から、課題を発見し、整理して考え抜く力をつけるセミナーです。
隔週で講義を聴き、グループディスカッションで問題点を明らかに。翌週のセミナーでプレゼンテーションを行います。自分たちでゼロから作り上げる授業といえます。

能動的な学びで、幅広く具体的なテーマを知る

各先生が自身の専門分野について講義してくださる入門セミナー。入学前は抽象的に捉えていた国際政治について、幅広く具体的なテーマを学ぶことができ、自分の興味の方向性が明確になりました。発表やディスカッションを通じて、能動的に学ぶ姿勢も身につきます。

Profile

国際政治学科 政治外交・安全保障コース 2年

柏崎 秀太 さん

KASHIWAZAKI, Shuuta

中学時代から国際政治に興味を持ち、国際機関で働く夢を抱いて国際政治学科に進む。2023年9月から約1年、国際政治において長い歴史を持つイギリスに留学。



プリゼミ

「多文化共生(移民)の政治経済学」を学びます。1. 移民を受け入れる国ではどのようなことが起こるのでしょうか。2. 移民とともに暮らすためにはどのような工夫が必要なのでしょうか。政治経済学的な見地から考えていきます。たとえば、移民が増えると私たちの生活はどう変わるか:雇用や賃金、経済成長や物価、貿易、税と社会保障、治安・文化から、受け入れに必要な自治体やNPO法人などの在り方まで幅広く議論します。

詳細なフィードバックで多角的に学びを深める

友原章典先生のプリゼミのテーマは「多文化共生の政治経済学」。数値をエビデンスとする経済学的手法により、多角的な視野や説明力が身につきました。
少人数のプリゼミは先生との距離が近くフィードバックが詳細なので、3・4年次のゼミ参加への準備にもなります。

Profile

国際コミュニケーション学科 国際コミュニケーションコース 3年

山田 華子 さん

YAMADA, Hanako

高校時代、平和・共生社会について学んだことをきっかけに、英語を使って異文化コミュニケーションをより深く学びたいと国際コミュニケーション学科へ進学。



2年次

プリゼミ

専門知識の修得 論理的思考力・表現力の獲得

専門的な学びへの導入期間。少人数制のクラスで、1年次に関心をもった分野の教員と連携しながら、専門知識を築きます。研究・プレゼンテーション・ディスカッションなどを通して論理的思考力・表現力を培い、専門的な研究へとつけていきます。

3年次・4年次

演習

課題解決力の育成 専門知識と思考力・表現力を結びつける

学科にこだわることなく個々の学習目標に合わせ自由にゼミ選択が可能です。平均6名の少人数クラスにより、研究発表や討論中心の授業が展開されます。
専門分野を深める過程で、幅広い視野の獲得、論理的思考力、表現力を身につけ、課題解決能力を養うと同時に、将来の方向性を見だしていきます。また、卒業に向けて、研究テーマを深化させ、演習論文にまとめます。

演習

都市の社会言語学

国際コミュニケーション学科
教授 猿橋 順子

さまざまな言語文化背景をもつ
人びとが行き交い、出会う大都市の言語コミュニケーションに
実地調査で迫る。



大都市・東京の公共的な場における言語使用やコミュニケーションのあり方について、参与観察や言語景観調査、インタビュー法などの手法を用いて接近します。駅前広場や観光地、国際交流イベントなど、誰もが利用し、参加可能な場において、言語や文化背景の異なる人びとがどのようにコミュニケーションを展開しているのか。そこにはどのような知恵や工夫、課題が認められるのか。社会言語学で提案されている理論をもちいて分析し、より豊かな多文化共生社会の実現につなげられるよう、議論と考察を深めていきます。



猿橋ゼミ風景

演習論文

ゼミテーマ例

※詳しくはP.21の教員紹介をご覧ください

国際政治部門	国際経済部門
■ 国際社会における法の支配 ■ 外交・国際安全保障問題の社会科学的分析 ■ グローバリゼーションの政治経済学	■ 社会・組織・私の問題の経済分析 ■ 企業活動や規制・産業政策・競争政策に関するデータ分析 ■ グローバルな視点から学ぶ経済史
国際コミュニケーション部門	国際マネジメント部門
■ 多文化社会の諸相 ■ 異文化コミュニケーション ■ 自然言語の音声・音韻研究	■ 企業経営と価値創造そしてアート

視野を広げ、多様化する社会に活かせる力を養う

私の専攻は国際経済学ですが、2年次に国際コミュニケーション学科の猿橋順子先生の公開ゼミを受講。言語表現という側面から社会を見ることに興味を持ち、猿橋先生のゼミに所属しました。ゼミではメディアを通じて多様な考え方を知るだけでなく、実際に企業で働く管理職の女性にインタビューするなどして、日頃は接点のない人の価値観や問題点の一端に触れることができました。また、ゼミの発表においては他学生から思いがけない意見や疑問をもらうこともあり、相手の声に耳を傾け、物事を自分ごととして捉える大切さにも気づきました。ここで培ったコミュニケーション力は今後、ますます多様化していく社会において大いに役立つと思っています。

Profile

国際経済学科 国際ビジネスコース 4年

渡邊 千愛 さん

WATANABE, Chie

生活に直結するお金の流れや歴史を学ぶことが将来に役立つのではないかと思います。英語を学び続けたいという理由から、国際経済学科を選択。今後は、学科の枠を超えて培った幅広い視野を活かしつつ、社会に貢献していきたい。



猿橋ゼミのメンバー。
ディスカッションしたり、お互いを高め合う存在。

英語で考え 協働する力を身につける

本学部では、英語で論理的に考える力、英語を使って協働する力を身につけ、グローバルな課題を解決するための人材育成を目指しています。

全クラス20人以下で、授業の多くが英語で行われています。

また、入学時のTOEIC®学内試験の結果をふまえた能力別のきめの細やかな授業を行っています。

学びの特徴

国際問題や時事問題などの実践的な題材を通じて、Listening、Speaking、Reading、Writing の4技能の向上を図ります。
また、論文作成やビジネスの場で通用する、アカデミックな英語力の育成を目指しています。

Listening

Speaking

4技能の強化

Reading

Writing

Contents
Based

国際問題や時事問題などの実践的な題材

英語授業カリキュラム

学年が進むと、英語で論文を書くクラスや、通訳者・翻訳家による指導を受けるクラスを通して、アカデミックな能力と高度な実践のスキルを伸ばすことができます。
また、数ある専門科目を英語で学ぶ機会も多く設けられています。

1年次

【必修】

- Writing I・II
- Reading I・II
- Media Literacy

- Public Speaking
- Internet English
- Debate & Discussion

2年次

【必修】

- Writing III・IV
- Reading III・IV

- Academic English
- English Seminar

3年次

【選択科目(科目例)】

- Academic Writing
- Academic Listening
- Academic Presentation Skills
- 通訳の理論と実践 I・II
- 翻訳の理論と実践 I・II
- 英語の音声

- Business Communication I・II
- Media Communication
- Cyber Communication
- Negotiation Communication
- Conference Communication

専門科目(英語講義)

英語で学ぶ専門科目

英語で学ぶ

100を超える英語講義・専門科目を英語で学ぶ

point 1

英語での理解力・発信力UP

英語で日常的に思考し、海外からの留学生と机を並べて英語で討論し、また英語でレポートを作成するなど、専門分野において英語でアカデミックワークをする力を強化します。英語は非母語話者を含め話者がもっとも多い言語です。英語でアカデミックワークをする力は、近い将来社会に出てからも大いに役立つはずです。

point 2

留学準備に最適

専門科目を英語で学ぶことで、留学先で英語環境にスムーズに溶け込むための準備ができます。留学帰国生あるいは海外就学経験者は、海外で鍛えた英語の能力をさらに伸ばしていくことができるでしょう。また、海外留学・海外大学院進学相談室で留学に関する専門家のカウンセリングを受けられるなど、本学部ならではの特典もあります。

point 3

グローバル環境に対応した教員陣

教員のうち9割以上が博士号取得者であり、4分の3の教員が海外で学位を取得しています。その数は私立大学学部の中でも群を抜いています。さらにアメリカ、中国、韓国、ロシアなどの国籍をもつ教員もあり、各地域への留学の相談に乗っています。このように、本学部はこれからも、グローバル系学部の草分けとして進化を続けていきます。

英語で実施される 科目例

Culture and Society
Intercultural Communication
Global Studies I～VIII
Structure of Japanese
政治外交・安全保障概論II
グローバル・ガバナンス概論II
グローバル経営論I・II
マクロ経済学I・II
ミクロ経済学I・II
異文化コミュニケーション特講I
国際コミュニケーション総論I・II

グローバル経済史
国際関係史概論
国際経済A・B
国際労働経済学I・II
国際経済政策入門
国際正義論
国際平和協力論I・II
国連研究
国際政治学特講I
社会言語学特講
多国籍企業論I

日本経済
地域研究(アメリカ経済)
地域研究(EU経済)
日本政治論I・II
日本文化論
アメリカ政治入門
プリゼミ
演習IA・IB / IIA・IIB
Business Communication I・II
Conference Communication
Negotiation Communication

Global Studies Program

グローバル・スタディーズ・プログラム(GSP)

卒業要件132単位の1/3～半数を英語で学ぶプログラムです。修得単位数に応じてSilver Course、Gold Course※として修了証が授与されます。英語により行われる専門科目のほか、協定校留学、短期海外研修で修得した単位等が対象となります。

※Silver Courseは40単位以上、Gold Courseは66単位以上が修了要件です。

卒業要件 単位 132単位		
● 青山スタンダード科目 ● 外国語科目 ● 学科科目 ● 自由選択科目		
英語で学ぶ授業 40単位	日本語で学ぶ授業 92単位	GSP Silver Course
英語で学ぶ授業 66単位	日本語で学ぶ授業 66単位	GSP Gold Course
0		132単位

VOICE

グローバル・スタディーズ・プログラム(GSP) 選択者インタビュー

留学先で実践できる英語力

GSPは卒業単位の半分、もしくは3分の1を英語講義で修得するプログラムです。私は留学先での授業についていけるように英語講義をとることを決めていました。英語講義ではレクチャーから資料、レポートやプレゼンテーションまですべて英語で行われるので、最初は難しい部分もありましたが、その分英語力が大いに向上したと感じています。わからない単語などがあれば調べたり先生に質問したりしながら、英語で専門科目を学べたことは留学にも役立ちました。日本人の先生であれば、授業後であれば日本語で質問することもできましたし、海外の先生も質問には丁寧に回答していただきました。ですので、英語が得意ではないなと感じている人でも英語力を伸ばしていきたいという意志さえあれば問題ないと思います。留学先で特に役立ったと感じたのは、英語でレポートを書く経験です。レポートの流れや様式、どのような文章を書くかということをおあらかじめ知っていたことで、留学先でも大きく困らずにレポート作成に取り掛かることができました。留学をする人もしない人もGSPと英語講義に挑戦して英語力を磨いてみてはいかがでしょうか。



国際政治学科
グローバル・ガバナンス
コース 4年
包國 遥太 さん
KANEKUNI, Yohta

世界を舞台に活躍する人材を育てる

卒業まで続く英語の学び

English for Juniors and Seniors について

本学部では、「3年生、4年生が履修できる英語のスキルを上達させる科目を開講して欲しい」という学生の声に応じて、「English for Juniors and Seniors」という英語プログラムを開講しています。近い将来社会に出て行く3年生、4年生が履修する授業であることに鑑み、学生の研究に資する能力、社会に出ても有用なものとして残る能力の獲得・向上に焦点を当てる科目を提供しています。

VOICE

授業担当教員の声

Academic Presentation Skills
勝又 恵理子 教授 KATSUMATA, Eriko

デンマーク・オーフス大学(Aarhus University)とのCOIL型教育を活用した協働学習から学ぶプレゼンテーション能力と異文化理解の向上



多様な文化が共存する社会になり、様々な文化背景を持つ人の前で英語プレゼンテーションをする機会が増えています。本コースでは、国際的な社会で役立つ実践的な英語によるプレゼンテーション能力を向上させること、そして質疑応答を通して英語でのディスカッション能力を養うことを目標としています。

その一例として、デンマークのオーフス大学とCollaborative Online International Learning (COIL)型教育の一環として非同期・同期型交流を通じて、自国の文化や社会問題についてのディスカッションを行います。本学部生はデンマーク文化について英語で発表、オーフス大学生は日本の社会問題を日本語で発表することで、グローバル教育を実践し、実体験としての学びに繋げることができます。



講義内容を
チェック



第二外国語を通して拓くグローバルな視野

第二外国語 について

広く国際的な視野を育てるために、英語以外の外国語として、フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語からひとつを選択して学習します。

言語運用能力を養うだけでなく、異文化理解を深めるために、各言語の文化について学ぶ授業もあります。どの言語も1年次には未修の学生がほとんどですが、中には、2年次または3年次から、その言語を使用する国へ交換留学できるほど上達する学生もいます。

VOICE

授業担当教員の声

中国語文献精読 I
橋本 秀美 教授 HASHIMOTO, Hidemi

外国語文献を大量に読みこなし、外国語に体を馴染ませる。

本学部では、第二外国語は6単位が必修とされていますが、それだけでは実用に堪えるレベルには至りません。現在では、字幕を伴った外国語動画がネット上に大量に存在し、無料で簡単に視聴できますから、6単位履修した基礎の上に、会話能力を高めていくことは容易です。しかし、文章語の場合は、字幕やフリガナを付けて分かり易くするという方法が無く、大体分かる気がしても、実は十分に出来ていない、ということになりがちです。この授業では、現在の自動翻訳では十分正確に翻訳されない文章を大量に読んでもらっています。段落ごとに読解のポイントを解説して、中国語の文章の作られ方を体得してもらうよう心がけています。山登りのようなもので、ガイドについてもらって難所を乗り越える経験を繰り返せば、後は一人でも登っていけるようになります。



講義内容を
チェック



海外で学ぶ豊富なプログラム

青山学院大学の 留学制度

青山学院大学には、休学することなく長期留学が可能な「協定校留学」(交換留学)と「認定校留学」(自分が希望する大学を留学先として申請する制度)があります。毎年本学部から40名程度(※)の学生が協定校・認定校への派遣交換留学を経験しています。また、夏期・春期を利用した海外語学・文化研修や海外インターンシップなど豊富なプログラムに加え、奨学金制度も用意しています。

※2022年度実績

■各国の協定校数

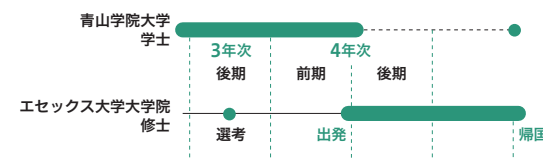
アジア			オセアニア			北米・南米			ヨーロッパ		
インド	1	モンゴル	1	オーストラリア	6	カナダ	4	フィンランド	2	イタリア	2
ミャンマー	1	ベトナム	2	ニュージーランド	1	アメリカ	42	スウェーデン	1	スイス	1
タイ	6	中国	9			メキシコ	2	アイルランド	2	ポーランド	2
マレーシア	3	香港	1			エクアドル	1	イギリス	5	チェコ	1
インドネシア	1	台湾	3					ベルギー	1	ハンガリー	1
フィリピン	1	カザフスタン	1					オランダ	2	ブルガリア	1
韓国	11							ドイツ	8	ロシア	2
								フランス	9	ウクライナ	1
								スペイン	4	スロベニア	1

エセックス大学 ダブルディグリープログラム

ダブルディグリープログラムとは？

4年次後期から1年間、エセックス大学大学院(イギリス)へ留学することで、4.5年で青山学院大学の学士とエセックス大学の修士の学位を取得できるプログラムです。2023年度から奨学金制度を整備しました。

※2023年度現在



参加学生は、MA(文系)だけではなく、MPP(公共政策修士)やMS、MSc(理系)を取得できるコースにも所属可能です。

2021年度にこのプログラムを修了した最初の卒業生は、エセックス大学のGovernment Departmentに所属し、MSc Social Data Scienceの学位(Distinction付き)を取得しました。さらに、修士コースでの最優秀賞をも受賞しています。

このように文系の学部から理系の修士を修得できるなど、多様な選択肢の中から、自身の専門分野を深めることができます。

■所属コース例

- MA Politics
- MA Political Theory
- MA Political Economy
- MA Political Science
- MA Economics
- MSc Social Data Science
- MPP Public Policy
- MA Linguistics
- MA English Language and Linguistics
- MA Linguistic Studies
- 他、複数のコースを用意。

MA…文系修士 MPP…公共政策修士 MSc…理系修士

■こんな方におすすめ

- 海外大学院での修士号取得や研究職を目指す方
- 国際機関や外資系会社等への就職を希望している方

■派遣実績

- ・2022年度 2名
- ・2023年度(予定) 2名

■留学先情報／エセックス大学(イギリス)

point 1 質の高い教育

社会科学分野において世界で高い評価を受けている。

point 2 国際色豊かな環境

学生の約40%が留学生で、130カ国以上の国々からの留学生を受け入れている。



VOICE ダブルディグリープログラム体験者インタビュー

新しい文化に触れ、自分の世界を広げる

新しい価値観と出会い、そして学部で培った国際政治に関する自身の見聞をより深めたいと考え、このダブルディグリープログラムに参加することを決めました。エセックス大学は約130カ国から学生が集う国際色豊かな大学です。私が在籍したMA International Relationコースにも様々な国の学生が集まり、それぞれのバックグラウンドをベースに多様な意見を交わしていました。また学部で学んだことと新たな知識の繋がりを実感できるのは、このプログラムにしかない強みであると思います。ハイレベルな授業や課題は大変でしたが、意欲の高いコースメイトと互いに高め合いながら取り組む日々はとても貴重な時間だったと感じています。キャンパスでは日頃からInternational Mixtureなどの異文化交流が開催され、寮でも世界中から集まった学生と生活を共にするなど、授業外でも新しい文化や価値観に常に触れることができる素晴らしい環境でした。そういったエセックス大学での生活の中で、国籍だけでなく文化、宗教、ジェンダーなど、本当の意味で「多様性」とは一体何なのかを身をもって知ることができました。様々な文化や世界中の友人との交流を通じ、新たな価値観や考えと出会うことができる、このダブルディグリープログラムに参加して本当に良かったと感じています。



国際政治学科
グローバル・ガバナンスコース 4年
浅子 智晴さん ASAKO,Chiharu



VOICE 留学体験者インタビュー

自分に自信が持てるようになった韓国留学

【留学先】梨花女子大学(韓国)

私は、韓国語を伸ばしたい、日韓関係について学びたいという思いで、韓国の梨花女子大学で一年間の交換留学を行いました。梨花女子大学は、韓国で最もレベルの高いと言われている女子大で、非常に勉強熱心な学生ばかりでした。そのような学生の中で学ぶのは、ついでいくのが非常に大変でしたが、その分得るものも多かったと思います。韓国語能力を伸ばしたいという気持ちで留学を決しましたが、留学生が非常に多く英語を使う機会も多かったため、韓国語能力はもちろんですが英語力も伸ばすことができたと思います。さらに保健所や役所に行く機会も多く、また何度か病院にかかったりコロナ療養を行う上で、異国で生き抜く生活力がついたと思います。もちろん外国で1年間学ぶことは簡単ではないですが、その分語学力、知識、生活力がついたと自分自身が実感することで、自信を持つことができるようになりました。留学によって、精神的にも成長することができました。



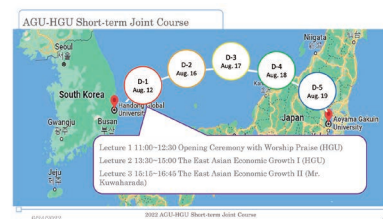
国際コミュニケーション学科
国際コミュニケーションコース 4年
辻郷 彩奈さん TSUJIGO,Ayana



国際政治経済学部はオンライン・オフラインを 自由自在に切り替え、どのようなときも 学部独自の海外研修プログラムを実施しています。

ハンドン大学(韓国)・国際政治経済学部協働短期研修

このプログラムは本学部の教員と韓国のハンドン大学の教員が協働で構築したものです。プログラムでは東アジアの経済、政治、文化、コミュニケーションを学び、現地学生との交流を深めます。ハンドン大学は、国際色豊かな、青山学院大学と同じくキリスト教に基づく教育を実践している大学です。人格教育の分野でも高く評価されており、IT、金融をはじめとする様々な業界でグローバルに活躍する卒業生を多数輩出しています。2022年度はオンラインで実施しましたが、2023年度は対面に切り替えました。



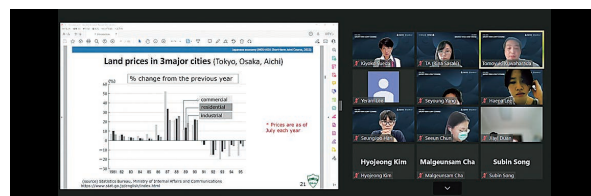
VOICE

互いを理解することから生まれる新たな関係

計5日間の研修にて青山学院大学と韓国のハンドングローバル大学の教授の方々が実施する講義を受け最終日にグループメンバーと共にプレゼンテーションを行いました。講義はすべて英語で行われ、各講義が非常にユニークでした。政治経済学はもちろん、テクノロジー、コミュニケーションそしてK-POPの内容も含まれており、幅広い物事を日本と韓国両方の視点を通じて考え、学ぶことができました。そして何より最後のプレゼンテーションは本研修の醍醐味と言えます。言語、価値観が共通ではないメンバーと1つのものを作り上げることは非常にやりがいがありました。何度も話し合い、誤解がないかを確認し、ときには冗談を交えて関係を深めながら発表する資料が完成していきました。発表

国際政治学科 グローバル・ガバナンスコース 4年
寺澤 勇紀さん TERASAWA, Yuki

当日には他グループの発表に対し質問をする機会があり、そこで多くの意見が飛び交い、参加者全員が互いを理解と尊重をしようとする空間が研修全体を通じて生まれた素敵な交流プログラムとなりました。



Missouri State University SDGsプログラム オンライン開催

バーチャルトリップでSDGsを体験的に学び、考え、成長する

海外渡航が難しくなった現在、海外研修は諦めるしかないのでしょうか？—答えは、Noです。このプログラムでは、国連が定める持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals – SDGs)をテーマに、ミズーリ州スプリングフィールド周辺をバーチャルトリップで訪問し、現地のSDGsの取り組みの例を学び、その取り組みに携わる方々のお話を聞くなど、英語で体験的に学ぶことができます。3週間のプログラムでは、最終日の研究発表に向けてオンデマンド形式とリアルタイム形式で学習し、教員、メンターや現地学生との交流を通じて、英語でのインプットとアウトプットを繰り返しおこないます。プログラム終了後には、参加前よりも格段にスキルアップした英語力を実感できるでしょう。

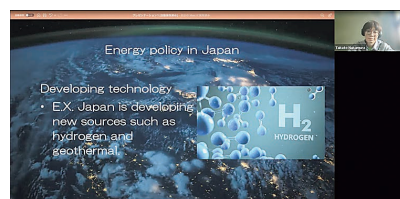
VOICE

新たな視点をもたらす海外研修

OGGAP(Online Global Goals Academy Program)とは、ミズーリ州立大学が主催するSDGsについて学ぶプログラムです。SDGsの基本情報はもちろん、SDGs達成に尽力する現地の団体から直接取り組みについて聞くことができます。ホームレスに住居を提供し、社会復帰を促す団体、廃水を処理して川の水質を改善する団体、医療サービスを提供して地域全体の健康度を上げる団体など、種類は多岐に渡ります。これらの話はSDGs

をより実証的な視点で理解する良いチャンスとなりました。「SDGsとは何か」、「そのために何をすべきか」という理論的な視点は今までの学習で身につけていましたが、「実際にその取り組みは効果的だったのか」、「予想された効果は得られたのか」という実証的な視点は現場で働く人に話を聞かない限り、中々得られるものではないです。普段の学習でも理論的側面と実証的側面の2つで物事を見る習慣が付き、学習に深みが生れました。

国際経済学科 国際ビジネスコース 3年
中村 駿人さん NAKAMURA, Takato



ランプン大学(インドネシア)・国際政治経済学部協働短期研修 オンライン開催

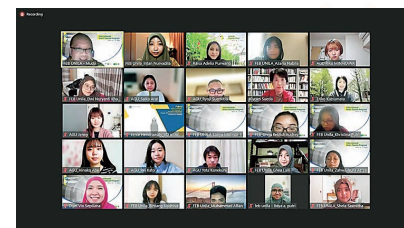
インドネシアのランプン大学と本学部の教員が協働で構築したプログラムです。インドネシアと日本の政治、経済、文化、コミュニケーションについて学ぶプログラムで、2020年度よりオンラインで実施しています。バーチャルで工場見学をしたり、ディスカッションを通じて学生同士からも多くを学びます。

VOICE

異文化に触れながら、能動的に学んだ一週間

ランプン大学との短期研修プログラムでは、日本とインドネシアの講師陣の講義を受けることによって、両国の政治体制、経済および文化についての理解が深まりました。一週間の講義では、学生たちは知的好奇心を持って知識を学び、授業中積極的に意見交換と発言をしました。そして研修の期間では、学生たちは学問に向き合うことだけでなく、授業後のチャットセッションでは、おしゃべりを通してお互いのことについて知ることができて、とても楽しい時間を過ごしました。最終日のCulture Exchangeでは、日本の学生たちは伝統行事や着物について、パワーポイントの形でプレゼンテーションをしました。それから、インドネシア側の学生たちは民族舞踊、当地のグルメなどについて、ビデオの形を通して紹介しました。このように、今回のオンライン研修は、学生たちに能動的に学ぶ機会を与えた一方、異文化で生まれ育った学生たちの間で深い友情関係も築きました。

国際経済学科 国際経済政策コース 3年
WU PEIYUAN さん



海外ボランティア実習

NPO法人 ICYEジャパン主催の海外ボランティアプログラム。活動地域はヨーロッパ、北中米、オセアニアの約30カ国にわたり、「環境保護」、「児童福祉」、「教師アシスタント」などのプログラムに参加します。国際コミュニケーション関連科目の学びと実践ボランティアを結びつけることで、知識や語学力の向上だけでなく、国際理解や異文化コミュニケーションのスキルを向上させることができます。

VOICE

価値観を広げることのできた2週間

国際コミュニケーション学科 国際コミュニケーションコース 3年
平林 まりさん HIRABAYASHI, Mari

NPO法人ICYEジャパン主催の海外ボランティアプログラムの一環で、2週間サンフランシスコでボランティア研修を行いました。ホームレスの方にフードバンクを通じてお弁当を渡したり、そのお弁当を作る裏側のお手伝いをしたり、低所得家庭の子供たちと日本食を作ったり、その他にも様々なボランティアを経験しました。現地の人と直接関わることで、格差社会であるアメリカの現実を身に染みて感じました。また、日本と比べて、社会的に弱い立場にいる方々に向けた支援が充実していることにも気づきました。私たちは日本で何不自由なく暮らせているけれど、贅沢な暮らしをしているから幸せだという価値観は必ずしも全世界の人に当てはまるわけではなく、幸せの価値観について改めて考えさせられました。また、プログラムのメンバーや現地の方々との出会い、休日の観光を通して、サンフランシスコの魅力を多く知ることができたので、このプログラムに参加してよかったと心から感じています。



その他の海外交流プログラム

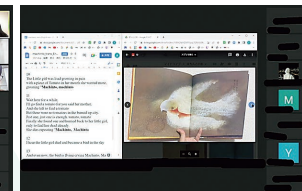
iEARN

VOICE

オンラインを通じて世界中の学校と異文化交流

国際コミュニケーション学科 国際コミュニケーションコース 3年
上村 星名さん KAMIMURA, Seina

iEARN(International Education and Resource Network)は、国際協働学習を推進することを目的としている組織です。現在、140の国と地域、30,000以上の学校が参加しています。オンラインで交流するので、時差が大きい国、遠く離れた国でも交わることができます。現在、本学の支部では2つのグループに分かれ、それぞれ「GOMI on EARTH」と「Machinto-What is HEIWA?」というワークショップを主催しています。私が携わっている「Machinto-What is HEIWA?」は、世界中の学校の生徒たちと、平和について考えるワークショップです。具体的には、広島原爆を描いた「まちゃん」という絵本を読み、原爆に関するクイズやディスカッションを行います。また、感じたことをポスター制作などクリエイティブな形で生徒たちに発表してもらいます。交流は英語で行うので、自然と英語力が身に着きます。しかし、iEARNの活動で得られるものはそれだけではありません。ワークショップの立案は、メンバーが中心となって行っているため、企画力、責任感、自立心の成長に繋がります。文化の違いゆえの課題に直面することもあります。それらは異文化間で交流するための良い学びになります。メンバーが一丸となって作り上げたワークショップが成功すると、大きな達成感を感じます。



進学動機や授業のようすを聞いてみよう

学生インタビュー

2年生 国際政治学科

貧富格差の解消や
経済開発に携わる夢に
着実に近づいている実感

坂本 悠麻 さん
SAKAMOTO, Yuuma
国際政治学科
政治外交・安全保障コース 2年

広範な学びができる柔軟な制度
幼少の頃からの歴史好きです。世界史の出来事が外交問題と結びついており、現代の国際問題とも地続きにあると気づいたことから国際政治を深く学びたいと考えようになりました。国際政治を学ぶには広範な知識が必要ですが、他学部で講義が受講できる柔軟な制度も自分にとって非常に魅力的でした。

基礎から専門知識まで丁寧に
中学・高校とも公立出身なので、入門セミナーでのプレゼンテーションやディスカッションはとても刺激的でした。また、阿部達也先生の授業では専門知識だけでなく、スライド作成法やレポートの書き方まで丁寧に指導していただき、基礎的なスキル固めもできました。さらに文学部史学科の講義も受講するなどし、想像どおりの幅広い学びが実現しています。

好奇心を満たす充実した環境
今年度から「英字新聞部」に所属し、現在は今回の世論調査の手法やトピックについて話し合うなどしているところです。勉強・バイト・サークル活動の並立はハードですが、興味のあることに何でもトライしたい自分にはぴったりの環境。母には「受験の頃より熱心に勉強しているね」と言われますが、充実した毎日を過ごしていると実感しています。



2023年5月撮影

時間割【前期】

	月	火	水	木	金	土
1	Writing III	国際法概論				
2	地域研究 (アジア経済) I	ロシア語 II A-1	社会科学のための 統計学入門 I	国際産業論 I		
3	経済学入門 (マクロ)	Academic English	Reading III		ロシア語 II B-1	
4		政治外交・安全 保障概論 I	日本の外交			
5		開発経済学入門 I				

〈オンライン科目〉

● 国際政治経済学概論

3年生 国際経済学科

素晴らしい先生や
お互いに高め合える仲間との
出会いがある場所

山下 数馬 さん
YAMASHITA, Kazuma
国際経済学科
国際ビジネスコース 3年

積極的に学ぶ人には理想的
幼少時にアメリカで英語や多様な価値観に触れた経験があったため国際的な分野に興味を持ち、また得意な数学も活かせるだろうと国際経済学科へ進学しました。入学当初は経済の基礎知識がなく、とまどいもありましたが、積極的に学ぶ姿勢さえあれば先生がとことん丁寧に指導してくださる理想的な環境です。

濃密な授業で学ぶ価値を実感
瀬尾佳美先生による入門セミナーは、今でも強く印象に残っています。入門と言いつつ内容は非常に濃く、ここでの学びが3年次の今でも役立っているほど。瀬尾先生の授業では大勢の前で発言を求められることなども多かったため、常にモチベーションを上げて取り組んでいましたが、それにより学ぶ価値や楽しさを実感することができたと思います。

多様性にあふれ、点と点が線に
学科を横断して学べる国際政治経済学部は、ステイプ・ジョブズが言っていた「点と点がつながる」という感覚を体感できる場所。将来はグローバル企業で働きたいと考えていますが、現在は経済や語学に限らず、宗教や歴史なども幅広く学んでいます。また多様な人々が集うこの環境での出会いを大切に、さらに多角的な視野を身につけたいと考えています。



2023年5月撮影

時間割【前期】

	月	火	水	木	金	土
1						
2		特講(クロスボー ダーM&A戦略論)		国際会計 I		
3	中国文化論			Intercultural		
4				演習 I A		
5	経済情報分析 入門	パブリック・リ レーションズ		演習 I A		

● 海外語学・文化研修 I

〈オンライン科目〉

● 人間関係とコミュニケーション A ● イスラム文化論 ● ビジネス・マネジメント I

2年生 国際コミュニケーション学科

“漠然とした憧れ”を
現実のものにする
環境がここにある

征矢 望々香さん
SOYA, Nonoka
国際コミュニケーション学科
国際コミュニケーションコース 2年

異文化理解への憧れを叶える
小学1年生で英語を習いはじめ、アメリカの文化や行事を知ったことから異文化理解に興味を持ち、中学の頃には国際コミュニケーション学科への進学が自分の夢になりました。私にとって特に魅力的だったのは、さまざまな制度や授業で異文化交流を積極的に行なっている点と、英語で専門科目を学ぶGSP(Global Studies Program)があった点です。

少人数制による想像以上の学び
憧れてきた国際コミュニケーション学科での学びは、想像以上に素晴らしいものでした。LUKE, Joel先生のPublic Speaking/Debate&Discussionでは、適切な英語表現を選ぶ大切さや異なる視点を知り、EVANOFF, Richard J.先生の授業では実際の交流を通して多様性や人となつがる魅力をあらためて実感。少人数だからこそ叶う学びや気づきにあふれています。

仲間との絆が留学の励みに
少人数制である上に交流することが好きな人が多いためか、ここでは授業中もそれ以外も和やかで楽しい雰囲気。時に同志、時にライバルとして励まし合いながら学んでいます。秋学期から協定校のフロリダ大学に留学しますが、日頃の成績が問われる協定校留学を目指して頑張れたのも仲間たちのおかげです。



2023年5月撮影

時間割【前期】

	月	火	水	木	金	土
1	コミュニケーション論 III/国際政治経済学概論			Reading III	Academic English	
2		スペイン語 II B-1	国際ビジネスと 海外事情 A	スペイン文化論	ディスコース 分析	
3		アメリカ合衆国の 社会と文化 C	Writing III		スペイン語 II A-1	
4		Global Studies III		Global Studies I	心理学 A	
5					文化研究概論 I	

● 海外短期研修

〈オンライン科目〉

● 現代社会の諸問題(個別科目) ● イスラム文化論/ドイツ文化論 ● 英語の音声
● 歴史と人間(総合科目)/フランス文化論

学生一人ひとりの想いを実現する

キャリアデザイン

本学部には毎年、グローバルな課題を解決したいという強い想いを抱く学生が入学してきます。
その想いを形にする論理的な思考力、異文化コミュニケーションスキル、グローバル課題解決に向けて実行する力を
養うカリキュラムやプログラムを用意しています。同じ意識や目標を共有する学生が自主的に活動を行い、切磋琢磨する
場として3つの学部公認学生団体を設置し、その活動を支援しています。

実践的なキャリア教育

1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
演習科目 入門セミナー・プリゼミ ▶ P.05	演習科目 ゼミ ▶ P.06		
留学 ▶ P.11			
海外研修など ▶ P.13			

特殊講義

グローバルな諸問題とその解決策を検討するために開設されている講義
現役官僚や国際交流基金職員などが担当

現場の第一線で活躍する講師による本学部の特別講義

国際交流実務論

独立行政法人 国際交流基金
(The Japan Foundation)

国際交流に携わるエキスパート
による現場の視点に立った
講義です。特に国際交流基金
の3つの事業(文化芸術交流、
海外での日本語教育、日本研
究・知的財産)について認識
を深めることができます。

日本の外交

外務省

日本の外交実務の第一線で活
躍している外務省職員による
オムニバス形式の講義です。
二国間・地域・地球規模のさ
まざまな分野にわたり、日本
の外交の生きた姿を理解する
ことを目標としています。

日本の防衛

防衛省

日本の防衛実務に精通した
防衛省高官によるリレー式
の講義です。日本を取り巻く
安全保障環境、国際情勢の認
識、自衛隊の運用など日本の
防衛政策に関する幅広い知
識を習得することが目標です。

国連研究

United Nations

現役の国連職員が英語で講
義します。国際の平和および
安全の維持を含む国際社会
の諸問題は国連の立場・国連
の視点からどのように解決
されるのでしょうか。実践的
な能力を養う絶好の機会です。

特講

(クロスボーダーM&A戦略論)

EYストラテジーアド・コンサルティング株式会社

戦略・M&Aコンサルティングに
従事している、現役コンサルタ
ントによる講義です。日本・グ
ローバル企業のクロスボーダー
M&A事例を教材に、M&Aや戦
略コンサルティングの概念に加
え、基礎的な会計・ファイナ
ンス・法務知識の習得を目指します。

学部公認学生団体		
外交・国際公務指導室 外交・国際公務指導室は将来世界的な規模で活動し、国際社会に貢献したいと考えている学生が集まり学び合う場です。異文化理解はもちろん、主体性や積極性、チャレンジ精神、柔軟性、使命感などグローバル人材に必要な資質を養うため、勉強会や講演会を行ってきました。今年度は、経済班、外交研究班、地域研究班、軍事研究班、ジェンダー班の五つの班に分かれ、室員全員が青山学院大学内の論文コンテストへ参加することを目標にしています。国際問題について、私たちと一緒に学術的なアプローチをしてみませんか。 代表:国際経済学科 国際経済政策コース3年 YU YANG	ジャーナリズム指導室 ジャーナリズム指導室は、新聞社、通信社、及びテレビ局などで活躍するジャーナリストの輩出を目的とした学生団体です。普段の活動では、大手新聞社で長年記者を務めた講師のもと、ディスカッションや作文添削を行っています。また、新聞社やテレビ局への見学を年に数回行っており、マスコミ業界を志望する学生には理想的な環境です。ジャーナリズム指導室はメンバー同士の仲が良く、和気あいあいとした雰囲気です。また、マスコミ業界を志望する方はもちろん、充実した大学生生活を送りたい方、ぜひお待ちしております。 代表:国際コミュニケーション学科 国際コミュニケーションコース2年 鈴木 敬達	SANDS (SIPEC & SDGs) 「渋谷から世界へ」SDGs(持続可能な開発目標)のトレンドを作り出す。私たちはこのビジョンと共に、SDGs達成に向け、活動しています。団体の始まりはWFPと協働して開催した「飢餓ゼロ1016キャンペーン」でした。その後、活動の幅を広げていき、SDGs出張授業や渋谷区への環境政策の提言、未来食(環境負荷の低い食品)配布企画など産学民の連携を重視した多彩なプロジェクトを展開してきました。今年度はCo-creationを掲げ、SDGsの新たな価値を共創していきます。ぜひ一緒に世界を変えるアクションを起こしましょう。 代表:国際政治学科 グローバル・ガバナンスコース2年 滝本 智丹

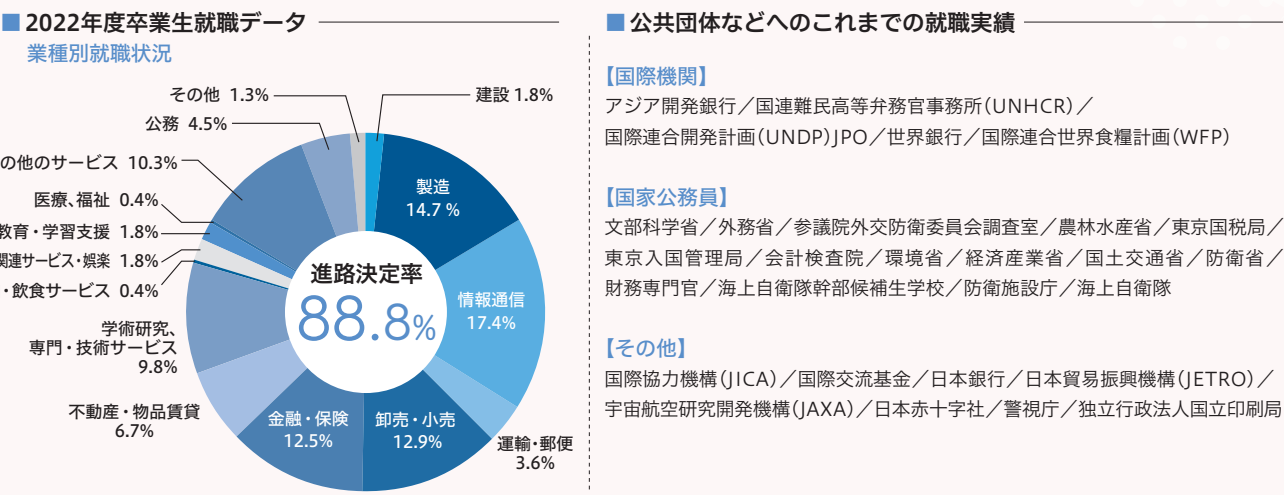
iEARN 詳細は P.14 をご覧ください。

社会調査士

社会調査士は、一般社団法人社会調査協会が認定する資格です。国際コミュニケーション学科において、社会調査協会認定の該当科目を履修すると、卒業時に社会調査士資格が取得できます。調査企画の立て方から、アンケートやインタビュー、統計処理などの調査技法を学び、報告書作成まで、実践的なトレーニングを行います。社会現象を科学的・客観的に捉える視点を養い、調査の専門家としての知識・技術を身につけることができます。この資格を取得した卒業生の多くが、調査会社に就職しています。

高い進路決定率を誇る国際政治経済学部

進路・就職センターと学部の教員が協力し、企業サイドの視点を理解するためのセミナーや、実践的な模擬面接などを数多く開催し、学生一人ひとりが自分の適性と将来の目標を十分考慮した上で就職活動に臨むことができるサポート体制を整えています。こうした取り組みが、優良企業や国際機関への就職と、学生本人が満足できる結果となってあらわれています。



就職者上位企業・団体					
楽天グループ株式会社	23	三井住友信託銀行株式会社	5	株式会社三菱UFJ銀行	4
丸紅株式会社	7	凸版印刷株式会社	5	損害保険ジャパン株式会社	4
PwCコンサルティング合同会社	6	明治安田生命保険相互会社	5	地方公務員(市町村)・神奈川県	4
日本生命保険相互会社	6	アクセンチュア株式会社	4	日本電気株式会社	4
SMB C日興証券株式会社	5	アビームコンサルティング株式会社	4	KDDI株式会社	3
株式会社みずほフィナンシャルグループ	5	株式会社ニトリ	4	アマゾンジャパン株式会社	3
国家公務員・東京都	5	株式会社三井住友銀行	4	伊藤忠商事株式会社	3
					(人)

大学院への進学

国際政治経済学研究科では、みなさんの関心とキャリアプランに即して、国際政治学、国際経済学、国際コミュニケーションの3専攻の中から一つを選び、専攻の学びを深めると共に他専攻の科目も履修することができます。国際政治経済学部4年次に大学院科目が先取りできる制度や、下記のような支援制度があります。これらを有効に活用してグローバルなキャリアを確かなものとしてください。

大学院科目特別履修	就学支援	修了生の主な就職先企業・団体
学業成績優秀な第4年次生は一定の条件の下、16単位を限度として大学院授業科目の特別履修が可能です。大学院進学後、この制度で修得した単位を修了要件単位に含むことができます。	【修士課程・博士後期課程共通】 ・入学金、校友会費全額免除 (本学学部卒業、修士課程修了の場合) ・各種奨学金 ・教育ローン ・国際学会発表支援制度	・パナソニック(株) ・日産産業(株) ・(株)アクシージア ・日本アイ・ビー・エム(株) ・Citigate Dewe Rogerson Japan(同) ・(株)フロンティアコンサルティング ・第一生命情報システム(株) ・(株)椿本チエイン ・富士ソフト(株) ・明治機械(株) ・(株)島津製作所 ・(株)ユーキャン・カレッジ ・私立大学(教員) ・ニッセイ情報テクノロジー(株) ・(株)クロス・マーケティング
	【博士後期課程】 ・施設設備料全額免除 (本学修士課程修了の場合) ・若手研究者育成奨学金 奨学金額:授業料年額の全額 ※条件有	

国際社会で躍動する卒業生

偶発性を楽しみ、挑戦することで道は拓ける

人々の笑顔のために奔走する日々

国際協力機構(JICA)は日本の政府開発援助(ODA)を一元的に担い、開発途上国の自立的な発展を目指して共に課題解決に取り組んでいる機関です。インフラ整備にまつわる資金協力、農業・教育・保健医療といった専門分野での技術協力など、その活動は多岐に渡り、私はここでアフリカ地域での事業を総括するアフリカ部長を務めています。一口にアフリカといっても、抱えている問題点やニーズは国それぞれ。各国の政府の人々と話し合っ

て課題をクリアにし、支援構想を企画。それを外務省や財務省などの日本政府に提案して予算を組み、実施から評価・改善まで、すべてを行うのが私たちの仕事です。現在、私の業務はスタッフのマネジメントが主ですが、最初は南米のボリビア事務所、その後、ガーナ事務所やモザンビーク事務所にも駐在しました。さまざまな事業に関わったなかで特に印象だったのは、HIV/エイズ啓発・教育のためにJICAとソニー株式会社が行なったパブリックビューイング・イベントです。2010年のサッカー W杯南アフリカ大会開催時はガーナの15地域18会場にソニー製の大型映像装置を設置し、ソーラー発電を使って試合を生中継。試合前後や合間に啓発のためのクイズ大会や検診を実施し、多くの参加者を集めることができました。普段、電気も通っていない地域で会場に灯りがついたときの子供たちの歓声と笑顔は、今でも忘れられません。

人生を変えた恩師や友人との出会い

大学時代、私は国際協力への思いと経済学の知識を活かして、将来は世界銀行かアジア開発銀行へ入行したいと考えていました。それにあたって大学院に進むか、民間で社会人経験を積むかを迷っていた際、アドバイスしてくださったのがゼミの指導教官だった川勝昭平名誉教授です。「大学院は何歳になっても行ける。まずは民間で金融の仕組みを学ぶほうが後々プラスになるだろう」という助言に従って、私は三菱銀行に入行。約3年の勤務において本田技研工業株式会社をはじめ、さまざまな企業と接するうちに「企業でも開発途上国でもまずは人づくりが大切なのではないか」という思いに至りました。ちょうどその頃、同窓生の矢部優慈郎氏から当時開発途上国の人づくりを担っていたJICAの取り組みを紹介され、社会人採用試験にチャレンジすることに。私が今ここにいるのは、まさに国際政治経済学部での出会いがあったからです。

私が常々、心にとめているのはスタンフォード大学のジョン・D・クランボルト教授が提唱する「計画的偶発性理論」。キャリア形成は偶発的な出来事に左右されますが、目的意識を持ちつつ好奇心・持続性・楽観性・柔軟性・冒険心の5つを大切に行動することが成功の鍵になるという考え方です。皆さんもぜひ、国際政治経済学部で自分の興味のおもむくままに挑戦を重ねてください。想像以上の出会いによって思わぬ道が拓けるに違いありません。



独立行政法人国際協力機構(JICA)
アフリカ部長

梁瀬 直樹さん
[1990年卒業]

Profile

1990年、国際経済学科国際経済学専攻卒業。三菱銀行京橋支店勤務を経て、1993年、国際協力事業団(現在の国際協力機構)に入団。ボリビア事務所などに駐在するほか人的資源・組織開発にまつわる事業を担当する。2005年、マンチェスター大学大学院IDPM(開発マネジメント研究所)人的資源管理修士号を取得。現在は「すべてのJICA関係者一人ひとりが持つ力を最大限発揮できる、明るく元気な組織づくり」を目指し、アフリカ部長として活躍。



①パナマ出張(健康管理室時代) ②モザンビーク政府関係者との協議(モザンビーク時代)
③東日本大震災応援出張(アフリカ部時代) ④日伯モ署名式(モザンビーク時代)

大切なのは、「英語を使って何をしたいのか」



Profile

2008年、国際経済学科卒業。花王グループの株式会社カネボウ化粧品に入社し、国内での営業職に約7年半携わる。2014年～15年に社内の海外研修制度でイギリス・スイスに赴任。その後、本社にて「SENSAI」ブランドのマーケティングに従事し、事業拡大に貢献。欧州・日本・中国を知るグローバル・マーケッターとして活躍中。

花王株式会社
化粧品事業部門
(中国化粧品事業プレステージ担当 上海駐在)

小澤 絵里さん
[2008年卒業]



チームメンバーと
新商品プロモーションの打合せ

ミラノで実施した新商品発表会で
商品のプレゼン

会議後各国の
ブランドマネージャーと会食

上海実施のオフラインイベントにて

チャンスをつかみ、単身赴任で海外駐在

現在、私は花王株式会社の化粧品事業に従事し、そのなかでも「SENSAI」というプレステージブランドのマーケティングを手がけています。「SENSAI」は、40年以上前から欧州を中心に展開してきたブランドで、2019年からは日本、さらに2021年からは中国へも導入されました。この中国でのビジネス展開にあたって、私は2022年3月末から単身赴任で上海に駐在。現地での指揮をとっています。

国際政治経済学部に入社した当時から、「いつかは海外に駐在して働きたい」という夢を抱いていたので、今回の上海駐在でまさしくそれが叶ったと思っています。ただ、すでに結婚しているため、会社側からオファーをもらったときは迷いがありました。夫は日本で働いていて、帯同は難しいですし、そろそろ出産も考えなくてはならない年齢です。辛い決断ではありましたが、「目の前にあるチャンスを逃したくない」という気持ちが先立ちました。当社でもまだ、女性が海外駐在に出る事例は決して多くないのですが、前例が少ないからこそ自分が先陣を切り、後輩女性たちの選択肢を広げていければと考えています。

日々、「異文化理解」の学びを実践

国際政治経済学部への進学を決めたのは、高校時代のアメリカ留学体験からでした。日本という国や文化が現地で知られていなかったことから、将来、日本の魅力を海外に伝える仕事に携わりたいと思うようになったのです。入学してからは英語の講義が多いため、とにかく必死に勉強した記憶があります。高校までの授業と異なり、ここではインプットをしたうえでアウトプットを求められます。しかも使うのは英語なので作業量が2倍になるようなイメージでした。そんななかで気づいたのは、英語はただのツールであるということ。国際政治経済学部では、英語を学ぶというのではなく、「英語を使って何をしたいのか」を意識しながら学ぶのがおすすめです。

3・4年次には、末田清子先生の「異文化間コミュニケーション」のゼミに所属しました。「異文化」と言うとは海外の話だと思ってしまうかもしれませんが、実は日本国内でもコミュニティが異なれば違う文化・風土が生まれるもの。このゼミで、コミュニケーションに大切なのは相手への理解だと学び、現在も常に「異文化理解」を意識して仕事を進めています。長らく欧州向けのマーケティングに携わりましたが、中国は日本とも欧州ともまったく異なるアプローチが必要になる市場。部下も全員、中国人なので勝手が違いますが、相手の言葉に隠れた背景や考え方を理解し、こちらの方針についても相手が納得しやすいよう、わかりやすく話すことを心がけています。今後、私が真のグローバル・マーケッターとしてさらなる力を磨くにも、国際政治経済学部での学びが糧になるでしょう。皆さんにもぜひ、このグローバルな環境での体験を通じ、夢を叶えていただきたいと思います。

教員紹介

宗教主任

左近 豊 【旧約聖書学】
米国コロンビア神学大学院修了(Th.M.)。
プリンストン神学大学院Ph.D.取得。
❶旧約聖書における都市崩壊後の哀歌、および嘆きの詩編の文芸学的研究。

国際政治学科

阿部 達也 【国際法学】
京都大学法学部卒。同大学院法学研究科博士後期課程修了、博士(法学)。
❶法規範の明確性と実効性を視座とする国際法理論の再構築。
❷国際社会における法の支配

泉川 泰博 【国際関係理論、国際安全保障、アメリカ外交、定性的方法論】
京都大学法学部卒。ジョンスホプキンス大学高等国際研究院修士。ジョージタウン大学大学院博士課程修了、Ph.D.(政治学)。
❶同盟理論・リアリスト理論研究、北東アジア国際政治・アメリカ外交
❷外交・国際安全保障問題の社会科学的分析

林 載恒 【比較政治学、中国政治】
ソウル大学社会科学部卒。東京大学大学院法学政治学研究科修了、法学博士。
❶現代中国の政治と外交。
❷転換期中国の政治と経済

押村 高 【政治思想史】
早稲田大学政治経済学部卒、同大学院博士課程修了。政治学博士。パリ第二大学大学院に留学、DEA取得。
❶政治思想史、フランス政治、現代政治理論、国際関係思想史、欧州地域研究、EU研究、政治文明論、ナショナリズム論
❷グローバリ化とアイデンティティの現在

倉松 中 【外交史、国際関係史】
国際基督教大学卒。早稲田大学大学院、英国キール大学大学院修了。ロンドン大学LSE大学院に留学。
❶戦間期の日英米海軍軍縮交渉、日英同盟、国際連盟における国際武器取引取締の試み等。
❷国際関係史―「一国外交史」を越えて

古城 佳子 【国際関係論、国際政治経済論、国際制度論】
東京大学教養学部教養学科卒。同大学院修士課程修了、プリンストン大学大学院にてPh.D.(政治学)取得。
❶国際政治と国際制度、経済外交、対外経済政策の形成。
❷経済的相互依存と国際政治

佐桑 健太郎 【国際関係論、紛争研究】
京都大学文学部卒。アリソナ州立大学大学院、インディアナ大学大学院修了、Ph.D.(政治学)。
❶紛争と安全保障、計量政治分析
❷戦争と平和の科学

佐竹 知彦 【国際関係論、アジア太平洋の安全保障】
慶応義塾大学法学部卒。同大学院法学研究科修士課程修了。オーストラリア国立大学大学院太平洋アジア研究科国際関係学部博士課程修了、博士(政治学・国際関係論)。
❶米国を中心とした「ハブ・アンド・スポックス」同盟体制の変容とその地域秩序への影響
❷豪州や日本の外交・安全保障政策

武田 興欣 【政治学、アメリカ研究】
東京大学法学部卒。プリンストン大学大学院に留学、Ph.D.(政治学)取得。
❶アメリカ連邦議会、アジア系アメリカ人について研究。
❷現代アメリカ合衆国の政治と社会

武田 健 【国際関係論、EUの政治】
早稲田大学政治経済学部卒、同大学院政治学研究科修士課程修了、英国プリストル大学大学院博士課程にてPh.D.(政治学)取得。
❶EUにおいて国家間協力が進展するメカ

ニズムについての研究
❷EU・欧州統合の研究

藤重 博美 【国際平和活動、平和構築】
同志社大学法学部卒業。ロンドン大学LSE修士課程修了、ロンドン大学SOAS博士課程修了。Ph.D.(政治学)。
❶紛争や国内の不安定さに苦しむ国々の再生や安定、そうした国々に対する国際的な支援策。
❷Global Governance and various aspects of global society

J. Patrick Boyd 【比較政治学、国際関係論、日本政治】
コロンビア大学東アジア研究学部卒。マサチューセッツ工科大学大学院修士(M.S.)、博士(Ph.D.) (政治学)取得。
❶戦後日本の政治と外交。
❷Political Development in Japan and Asia

和田 洋典 【政治経済学】
慶応義塾大学経済学部卒。ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス(LSE)修士、一橋大学大学院博士課程修了、法学博士。
❶国際経済制度、中国・新興国の台頭。
❷グローバルゼーションの政治経済学

渡邊 理絵 【気候エネルギー政治、政策過程論】
東京大学法学部卒。ベルリン自由大学Otto-Suhr Institut修了(政治学博士)
❶(実証)気候エネルギー政治の日独米比較。
❷政策転換(パラダイム転換)と環境政治

国際経済学科

内田 達也 【応用ミクロ経済学】
青山学院大学国際政治経済学部卒。同大学院博士課程修了、博士(国際経済学)。
❶社会課題に対する経済学的な解決法とデザイン的な解決法の統合
❷社会・組織・私の問題の経済分析

内山 義英 【国際経済学、計量経済学】
青山学院大学国際政治経済学部卒。同大学院博士課程修了、博士(国際経済学)。
❶日本の貿易構造の特性についての研究。
❷日本経済および国際経済問題の実証的研究

岡部 智人 【公共経済学、政治経済学】
慶應義塾大学理工学部卒。オーストラリア国立大学大学院修了(Ph.D.)。一橋大学経済研究所を経て現職。
❶財政政策と政治経済
❷フランコフォニーの社会と経済

沈 承揆 【労働経済学】
ソウル大学経済学部卒。ウィスコンシン大学大学院に留学、Ph.D.取得。東京大学経済学部講師。
❶失業、賃金構造、人的資本形成など、労働市場の分析
❷Understanding Contemporary Economic Issues and Policies

瀬尾 佳美 【環境経済学】
大阪大学理学部卒。クラーク大学大学院環境科学・政策学科修士課程修了(MA)。筑波大学大学院博士課程修了、博士(都市・地域計画)。
❶環境リスクの研究。
❷環境経済学、環境リスク学

武田 朝美 【開発経済学】
青山学院大学経営学部卒業。同大学院国際マネジメント研究科修士課程修了。政策研究大学院大学政策研究科博士後期課程修了、博士(政策研究)。
❶アジアにおける産業発展、及びインフラが貧困に与える影響に関する実証研究

竹田 憲史 【金融】
早稲田大学政治経済学部卒。ウィスコンシン大学大学院Ph.D.取得。日本銀行金融研究所を経て現職。
❶国際金融、中小企業金融についての理論・実証研究。
❷日本と国際政治経済

鶴田 芳貴 【産業組織論】
青山学院大学国際政治経済学部卒。筑波大学大学院博士課程修了、博士(社会経済)。

❶競争政策に関連する実証分析。
❷企業活動や規制・産業政策・競争政策に関するデータ分析

友原 章典 【国際経済学】
早稲田大学政治経済学部卒。ジョンスホプキンス大学大学院Ph.D.取得。世界銀行や米州開発銀行にてコンサルタントを経験。
❶移民、貿易、海外直接投資
❷グローバル経済が直面する諸問題について「移民の経済学」と「幸福の経済学」

中川 浩宣 【国際金融、国際マクロ経済学】
慶応義塾大学経済学部卒。ニューヨーク大学大学院M.B.A.、コロンビア大学大学院Ph.D.取得。
❶国際マクロ・金融(international macroeconomics and finance)分野における理論・実証研究。
❷モデルとデータを用いた理論的考察・実証的分析

野村 親義 【経済史】
東京大学農学部卒、東京大学大学院農学・生命科学研究科博士課程修了(博士(農学))。
❶帝国支配とインドの経済発展。
❷グローバルな視点から学ぶ経済史

藤田 幸一 【農業経済学、開発経済学、南アジア・東南アジア地域研究】
東京大学農学部農業経済学科卒業。東京大学大学院農学系研究科修士課程修了。東京大学・博士(農学)。
❶南アジア・東南アジアの経済発展と農村社会の変動
❷アジア開発途上国の農村社会経済開発を学ぶ

山下 直輝 【国際貿易、多国籍企業、イノベーション、アジア経済】
オーストラリア国立大学院博士課程修了、Ph.D.(経済学)。スインバーン工科大学特任リサーチフェロー。アジア開発銀行、国連アジア太平洋経済社会委員会にて国際コンサルタントを経験。Asian Economic Journalの副編集員。
❶グローバルゼーションの日本経済への影響(応用ミクロ経済分析)
❷Economics of Globalisation

国際コミュニケーション学科

井川 肇 【理論言語学(生成文法)】
国際基督教大学卒。カリフォルニア大学アーバイン校大学院留学、Ph.D.取得。
❶生成文法の枠組みの下での日英語の比較研究を行っている。
❷人間言語の成り立ちと仕組み

Richard Evanoff 【比較文化】
シカゴ大学大学院修了。英国ランカスター大学よりPh.D.取得。
❶環境哲学、異文化倫理学、異文化ダイアログを研究。
❷国際倫理学

抱井 尚子 【多文化心理学、混合研究法】
青山学院大学国際政治経済学部卒。ハワイ大学大学院よりPh.D.取得。
❶文化とコミュニケーション。研究法。がん患者の心理社会的問題で海外との共同研究を実施。
❷多文化社会の諸相

勝又 恵理子 【異文化コミュニケーション、多文化教育】
ヒューストン大学クリアレイク校卒。同大学院修了(MA)。クレアモント大学院大学およびサンディエゴ州立大学大学院よりPh.D. 取得。
❶異文化コミュニケーション能力養成のための教育法
❷多文化社会における異文化コミュニケーション

狩野 良規 【イギリス文学、演劇学、映像論】
東京外国語大学卒。同大学院修了。
❶シェイクスピアの歴史劇、イギリスおよびヨーロッパの映画。

❷イギリス・ヨーロッパ文化研究

國分 俊宏 【フランス文学】
早稲田大学第一文学部卒。同大学大学院修了。パリ第3大学博士課程に留学し、文学博士号取得。
❷表象文化論

猿橋 順子 【社会言語学】
青山学院大学国際政治経済学部卒。同大学院博士後期課程修了、博士(国際コミュニケーション)。
❶社会言語学、言語政策論。
❷都市の社会言語学

末田 清子 【異文化コミュニケーション、人間コミュニケーション】
立教大学社会学部卒。カンザス大学大学院およびカリフォルニア州立大学フラトン校大学院修了(MA)。英国ランカスター大学よりPh.D.取得。
❶研究テーマはアイデンティティ、フェイス(面子)とコミュニケーション。
❷異文化コミュニケーション

田崎 勝也 【文化政策、異文化コミュニケーション心理】
ハワイ大学大学院修了、Ph.D.取得。
❶「こころと文化」をテーマに、比較文化の観点から量的研究を行っている。
❷対人コミュニケーションゼミ

陳 継東 【中国思想文化と仏教学】
北京大学卒。東京大学博士(文学)。
❶近代中国の思想・宗教、および日中交流史。
❷中国の社会と文化

西村 康平 【理論言語学、音韻論】
国際基督教大学卒。東京大学総合文化研究科より博士号取得。
❶言語の発音に関するバリエーション、語彙クラス、普遍性。
❷自然言語の音声・音韻研究

橋本 秀美 【中国文献学、学術史】
東京大学文学部卒。北京大学中文系博士。
❶中国文献学、学術史。
❷中国古典思想と現代社会

Petr Podalko 【ロシア語教育、歴史学(言語文化学)】
ノボシビルスク大学卒。同大学院歴史学専攻博士課程。大阪大学大学院博士課程修了。言語文化学博士。
❶ユーラシア研究・移民問題、映画史等。
❷東西を一致にしたユーラシア大陸の歴史と文化論、その過去と現在

渡邊 千秋 【スペイン現代史】
上智大学大学院修了。スペイン国立放送大学大学院より博士号取得(史学)。
❶20世紀スペインにおける社会心性。
❷現代スペイン社会を文化横断的に考える

鳥塚 あゆち 【文化人類学、ラテンアメリカ地域研究】
東海大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学、博士(文学)。
❶アンデス先住民社会の変容、牧畜文化比較研究。
❷ラテンアメリカの文化と社会

国際マネジメント研究科(兼任)

岩井 千明 【ビジネスゲームシミュレーション、チームマネジメント】
慶応義塾大学法学部卒。青山学院大学大学院修士課程修了。
横浜国立大学大学院国際社会科学研究所博士課程修了、博士(経営学)。
❶ビジネスゲームの開発、アートとビジネス
❷企業経営と価値創造そしてアート

中里 宗敬 【ファイナンス】
東京工業大学工学部卒。同大学院修士課程修了。
❶証券の価格形成およびバブル発生メカニズムの分析
❷証券市場の分析

入学者選抜情報については、下記をご覧ください。

【入学者選抜情報】



(大学ホームページ)

【2024年度一般選抜(個別学部日程) 試験問題対策】

【2024年度国際政治経済学部一般入試の変更点について】



(国際政治経済学部ホームページ)